

アジア太平洋地域インフラ担当大臣会合について

1. 目的

アジア太平洋地域のインフラ担当大臣が一堂に会し、同地域のインフラ整備のあり方についてトップレベルで意見交換を行う会合。1995年に、日本の建設省（当時）が提唱して会議を設置。

2. 開催実績と代表者

	開催国・都市	開催年月	参加国・地域
第1回	大阪	1995年9月	16ヶ国・地域
第2回	チリ（サンチアゴ）	1997年6月	16ヶ国・地域
第3回	香港	1999年5月	15ヶ国・地域
第4回	インドネシア（バリ）	2003年10月	14ヶ国・地域
第5回	マレーシア（プトラジャヤ）	2005年1月	13ヶ国
第6回	中国（北京）	2007年8月	10ヶ国・地域
第7回	シンガポール	2009年6月	10ヶ国・地域(予定)

3. 本会議の構成国・地域(20ヶ国・地域)

オーストラリア、ブルネイ、カナダ、チリ、中国、コロンビア、香港、インドネシア、日本、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ベトナム、パプアニューギニア、ペルー、フィリピン、韓国、シンガポール、タイ、米国

4. テーマ

- 第1回会合 国際協力と国際協調等
- 第2回会合 社会資本整備における官民協力等
- 第3回会合 広域交通を目指したインフラ整備開発等
- 第4回会合 経済開発促進のためのインフラの財源確保強化策
- 第5回会合 インフラ整備と環境のバランス
- 第6回会合 インフラ整備における財源・投資制度の改革と持続可能な水利用
- 第7回会合 水に関するインフラ計画と持続可能な都市開発の統合